



学校通信

中 神

令和6年1月9日

昭島市立中神小学校

校長 松井 茂

令和6年の年が明けました。本年も本校の教育にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

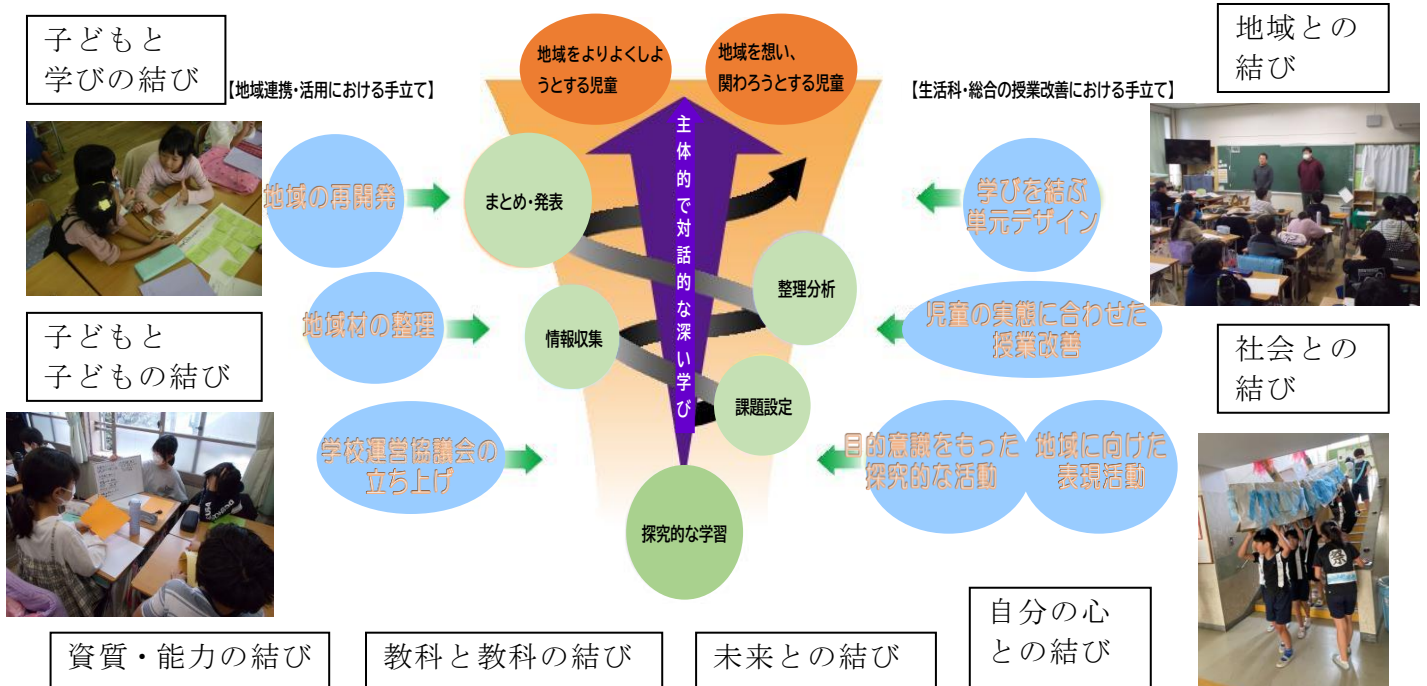
また、能登半島地震並びに航空機事故による災害・事故におきましては、お悔やみを申し上げるとともにお見舞い申し上げます。1日も早い復興をお祈り申し上げます。

改めて、自助（自分自身や家族で備える）・共助（地域で助け合う）・公助（行政の役割）の連携を大切にしていくためにも、日頃からの備えや協力・思いやりなどといった行動ができる自分でありたいと思いました。デジタルがどんなに発達した時代となっても、顔を見合わせ人と人がつながり、コミュニケーションを図っていくことを大切にするということを忘れてはいけないと思います。

「結育」～地域の「こと・ひと・もの」とつながる学習～

今年度、本校では「全ての子どもの良さ・可能性を伸ばし、自己肯定感を育てる学校～郷土中神とのつながりを重視した教育活動～」を重点とし、保護者・地域の皆様と連携を深めながら取り組んできました。このため、上記を研究主題とし、生活科・総合的な学習の時間を中心に学習内容・指導法を研究してきました。

これまでも、「地域の学校」として「地域の子ども」を三者で育てることを学校経営方針の柱として進めてきましたが、より一層「地域とともにある学校」に向けて連携・協働によって、様々な「結び」を大切に「結育」を図っていきたいと思います。



子どもたちが、自分の住んでいる地域、昭島・中神を改めて見つめ、知ることで「なんで」「どうして」という課題を見付け、その解決のために探究的に学習を進めてきました。その過程で、地域の方の多大なるご協力をいただきました。地域の方の考えや思いを知りたいとアンケート調査をさせていただき200近いご回答をいただいたり、実際に訪ねたり、来ていただいたりして教えていただくこともありました。「昭島の水」「拝島ネギ」「地元のお祭り」など多くの良さを知り、分かったことを発信しようとしています。こうしたつながり（結び）を大切に更に深めていきながら、わが郷土に誇りを持ち、未来に必要な力を付けられるよう今後も中神小の教育を進めていきます。令和6年度には、この研究の成果を発表させていただきます。また、2年後の開校60周年へ向けて取り組んでまいります。